

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

<b>事業名</b>	「外務大臣と語る」開催経費		<b>担当部局庁</b>	大臣官房 外務報道官組織		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成15年度		<b>担当課室</b>	国内広報課		課長 佐久間 研二		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	Ⅲ-2 報道対策、国内広報、IT広報				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	外務省設置法第4条		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	様々な外交案件について外務省が具体的に何をしようとしているのか、また、その背景について外務大臣自らが一般国民に直接、わかりやすく説明するとともに、国民の意見を聴取し、国民との対話を深めることを目的としている。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	<p>「外務大臣と語る」は外務大臣が一般国民と直接対話を行うものであり、大臣の基調講演とそれに続く質疑応答で構成。本事業は平成14年度に「外務省タウンミーティング」の名称で開始、平成18年度からは大臣による基調講演の時間を短縮し、参加者との質疑応答及び意見交換をする時間を拡大した。平成20年度以降は、年1回、地方(主として政令指定都市)で実施している。</p> <p>平成22年度は、23年3月5日、神戸国際会議場において「これからの日本外交」をテーマとする「前原外務大臣と語る」を開催し、455名が参加した。大臣の基調講演に続き、会場の延べ9名からの質問に答え、意見交換を行った。</p> <p>実施後の参加者アンケートでは、「良かった」が93%、「外交政策に対する理解が深まった」が89%、「今後も継続すべき」が91%に上った。</p>							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	▲3	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	20	15	8	6	2	
	執行額	9	5	5				
	執行率(%)	44.7	33.5	67.5				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	事業実施後のアンケートにおける「外交政策に対する理解が深まった」とする回答率。(目標値:80%以上)		成果実績	%	82	81	89	80
			達成度	%	102	101	111	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	参加者数		活動実績 (当初見込み)	名	442	384	455 (500)	- (500)
<b>単位当たりコスト</b>	11,481(円/参加者1名)		算出根拠	開催経費(X):5,223,920円 参加者数(Y):455名 (X)÷(Y)				
<b>平成23年度 (単位:千円) 予算内訳</b>	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	人件費	1,844	0	事業見直し、単価見直しによる減				
	開催運営費	3,945	1,727					
	出張費	501	635					
計	6,290	2,362						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	-
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成22年度事業の予算執行においては、会議運營業務、新聞広報、会場借料に分けて契約を行った。会議運營業務一式については、一般競争入札を行い、予算の単価、総額ともに妥当な水準と考えられる。また、会場借料については、本事業を実施するに相応しい地理的条件及び設備、規模を有するのは「神戸国際会議場」が唯一の会場であり、新聞広報についても、広報効果に鑑みて地元有力紙への広告掲載としたものであり、いずれの予算執行も適正に行われたと考えられる。</p> <p>集客広報については、アンケート結果に基づき、最も効果の高かった新聞広告をメインとし、ポスター・チラシの作成・送付は今後とも割愛可能と考える。また、記録映像は出張者が行うなど事業の簡素化を図ることにより、予算を縮減することができる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善		事業見直し、単価見直しによる減	
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減(事業見直し、単価見直しによる減)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

外務省  
5百万円

「外務大臣と語る開催経費」

【一般競争入札】

A. 株式会社ステージ  
3百万円

「外務大臣と語る」の  
開催業務一式

【随意契約】

B. 株式会社読売エージェンシー  
1百万円

「外務大臣と語る」の  
開催広告、参加者募集広告掲載費

【随意契約】

C. 株式会社国際興業神戸  
0.03百万円

「外務大臣と語る」の  
車輛借り上げ費

【随意契約】

D. 財団法人神戸国際観光コンベンション協会  
0.5百万円

「外務大臣と語る」の開催会場借料

【出張旅費】

E. 出張旅費  
0.4百万円

「外務大臣と語る」の出張旅費

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

A. 株式会社 ステージ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費等	「外務大臣と語る」開催業務一式	3			
計		3	計		0
B			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ステージ	開催業務一式	3	2	70.2

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)読売エージェンシー	新聞広告掲載	1	—	随意契約

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)国際興業神戸	外務大臣車輛	0.03	—	随意契約

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)神戸国際観光コンベンション協会	会場	0.5	—	随意契約

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	開催業務	0.03	—	—
2	出張者B	開催業務	0.03	—	—
3	出張者C	開催業務	0.03	—	—
4	出張者D	開催業務	0.03	—	—
5	出張者E	開催業務	0.03	—	—
6	出張者F	開催業務	0.03	—	—
7	出張者G	開催業務	0.03	—	—
8	出張者H	開催業務	0.03	—	—
9	出張者I	開催業務	0.03	—	—
10	出張者J	開催業務	0.03	—	—